



# 脳神経内科



## 診療科の特色

地域中核病院の脳神経内科として救急総合診療科、脳神経外科、神経感染症センターと連携しながら脳血管障害、痙攣重積、脳炎・髄膜炎などの神経救急疾患を得意分野としています。豊富な症例と経験をもとに最適な治療を迅速に開始し、超早期からのリハビリも加え良好な成績を上げています。また内科の一環として内科的側面の治療も行い、長期的視野に立って疾患のコントロールに取り組んでいる。また社会福祉の側面についてもソーシャルワーカーもチームの一員として活躍し地域のリハビリ病院、施設と定期的な会議をおこない連携を深め、地域に帰ってからの生活も視野にいれながら円滑に地域医療にむすびつけられるよう努めています。また神経感染症センターが開設され、脳炎、髄膜炎が増加傾向にある。一方、外来では認知症、頭痛、てんかんの専門的診察を行いながら、パーキンソン病、重症筋無力症、多発性硬化症、視神経脊髄炎、脊髄小脳変性症、CIDP、筋ジストロフィー、ALS、サルコイドーシス、ファブリー病などの神経難病の診断、治療、社会福祉サービスを利用した支援を行っています。

## 実績情報

### 2020年の診療実績

入院	336名	外来	3731名
脳血管障害	148名 (44%)	認知症	719名 (19.2%)
痙攣性疾患	42名 (12.5%)	頭痛	340名 (9.1%)
髄膜炎、脳炎	26名 (7.7%)	てんかん	26名 (7.7%)
パーキンソン症候群	24名 (7.1%)	パーキンソン症候群	301名 (8.0%)
その他		その他	
視神経脊髄炎9名、ALS8名、重症筋無力症6名、GBS2名など		脳梗塞後遺症、重症筋無力症、ALS、CIDPを含む末梢神経障害、EGPA2、サルコイドーシス、各種の不随意運動、顔面痙攣、三叉神経痛など多岐にわたる	

## 昨年度総括

COVID-19の影響はあまりなく、脳血管障害の入院は例年通りでした。てんかん、痙攣重積はやや減少しましたが、脳炎、髄膜炎は増加しています。入院の原因疾患は多岐にわたり、原因不明の意識障害、不随意運動など脳神経内科の精査を要する疾患が多いですが、変性疾患末期の誤嚥性肺炎、尿路感染症なども増加傾向でした。外来では認知症精査、治療、介護保険の利用目的の受診が増加してきており、地域の高齢化を反映していると思われます。急性期病院としては地域医療に結び付けられるようご案内しています。

## その他

当科外来では顔面痙攣に対するボトックス治療が可能です。

パーキンソン病に対する深部脳刺激法の手術は他院にご紹介しています。

正常圧水頭症の検査入院を行っています。

認知症の精査として、頭部MRI、脳血流シンチが可能、せん妄、不穏については外来対応は可能ですが入院は行っておりません。



# 脳神経内科



## 医師紹介



科長

徳永 恵子 (とくなが けいこ)

**[取得資格等]**  
 ・日本神経学会 神経内科専門医・指導医  
 ・日本内科学会 認定内科医  
 ・日本静脈経腸栄養学会 認定医  
 ・厚生労働省 医師の臨床研修に係る指導医講習会修了

診療顧問  
(神経総合センターセンター長兼務)  
 亀井 聡  
(かめい さとし)



**[取得資格等]**  
 ・日本神経学会 神経内科専門医・指導医  
 ・日本臨床神経生理学会 専門医・指導医  
 ・日本内科学会 認定内科医

副科長  
 山野井 貴彦  
(やまのい たかひこ)



**[取得資格等]**  
 ・日本眼科学会 眼科専門医  
 ・日本神経学会 神経内科専門医・指導医  
 ・日本内科学会 認定内科医  
 ・日本神経眼科学会 神経眼科相談医  
 ・厚生労働省 医師の臨床研修に係る指導医講習会修了

医員  
 飯塚 誉  
(いづか たかし)



**[取得資格等]**  
 ・日本神経学会 神経内科専門医  
 ・日本内科学会 認定内科医

## 外来担当医表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
脳神経内科	午前	飯塚・亀井	徳永・中村	石原・山野井	担当医・飯塚	高橋(第1・3・5週) 横田	松倉
	午後	徳永・亀井	山野井・若盛	石原・亀井 第1・3週 物忘れ外来(休)	徳永・石橋・亀井	徳永・横田 物忘れ外来 関	

ご依頼・お問い合わせ

病診連携係へのご連絡 予約直通 **048-773-5941**  
 当日緊急受診相談 **048-612-1444**

〈病診連携係対応時間〉 平日8:30 ~17:30 / 土曜日8:30~13:00